

<2020年8月 今月の注目企業>

◆ PaMeLa 株式会社

○設立：2016年2月

○代表：代表取締役 長谷川 新

○特筆事項：主観的に評価することが標準である医療における痛みの判定を客観的にこなす医療機器を開発。
大阪大学 生命機能研究科の研究成果を事業化。

◇事業内容：痛みの特徴量を含む脳波をAIで解析、痛みを判定する医療機器を開発

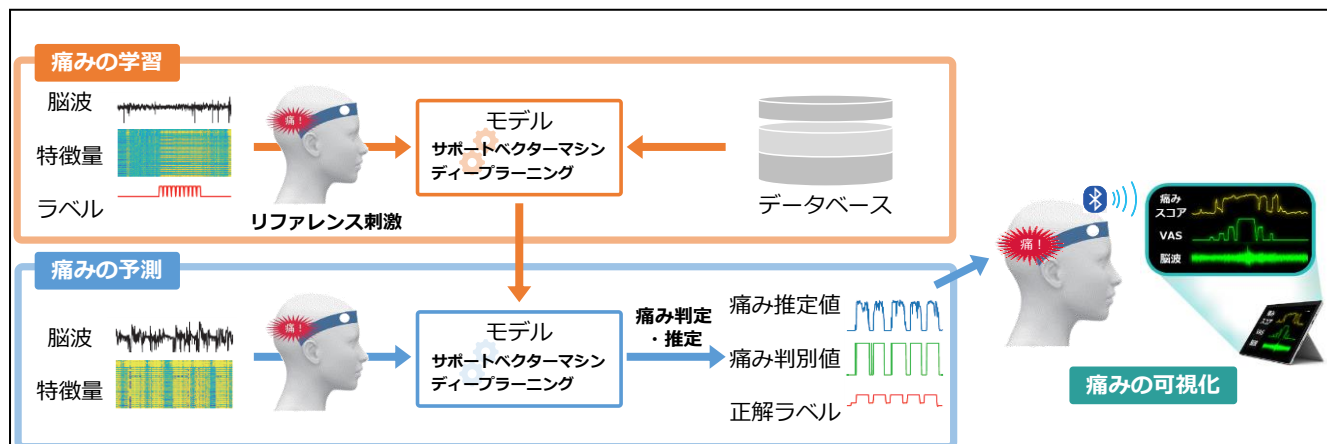


図1 AIが痛みを判定

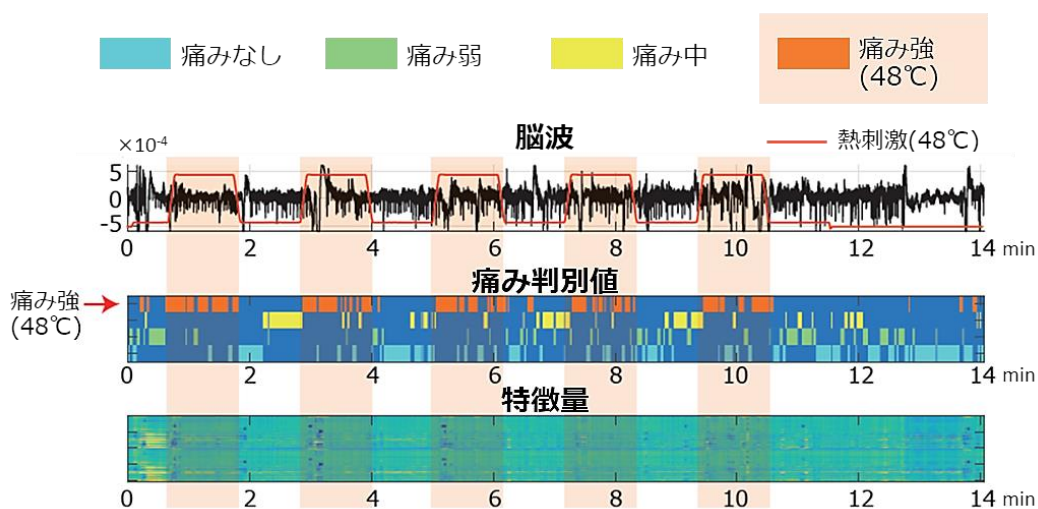


図2 熱刺激に対する脳波測定による痛みの評価結果例

◇商品紹介

現在、臨床現場や鎮痛薬の治験など痛みの強さを評価する方法はビジュアルアナログスケール (VAS: Visual Analogue Scale) という方法で、これは、白紙に10 cmの線を引き、その左を全く痛くない状態、その右をこれまで想像できる最高の痛みとしたときに、現在感じる痛みを指示する方法であり、主観的であるため、大げさに痛がる人は痛みの評価が強くなり、我慢強い人は痛みの評価が弱くなるという問題があり、鎮痛剤の過剰投与や薬の治験が適切に実施できないなどの問題がある。特にUSAにおいては薬物中毒(オピオイド問題)の一因として大きな社会問題になっている。

この課題に対して、脳波を測定し脳波に含まれる痛みの特徴量を解析、客観的に痛みの強さを評価する。

◇注目点

池田泉州銀行、大阪府ものづくりイノベーション、吹田市、NEDO、AMEDなどの支援や、複数のVCなどの第三者の投資を得て、事業を行っています。

<連絡先> PaMeLa 株式会社

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-3 大阪大学生命システム棟6階E601

URL 及び問い合わせ先 右記URLのフォームから <https://pain-ml.com/>